

規制改革推進会議

投資等ワーキング・グループ(第15回)

資料2

(H30.2.19)

規制改革推進会議
第15回投資等WG

ネット時代の放送とその未来

～ 公共性・多様性・地域性 ～

2018年2月19日

音好宏(上智大学)

yos-oto@sophia.ac.jp

放送の現状と課題

1) マクロ的視座から

マクロ経済の停滞

多メディア・多チャンネル化・デジタル化

ウェブ・メディアの伸長

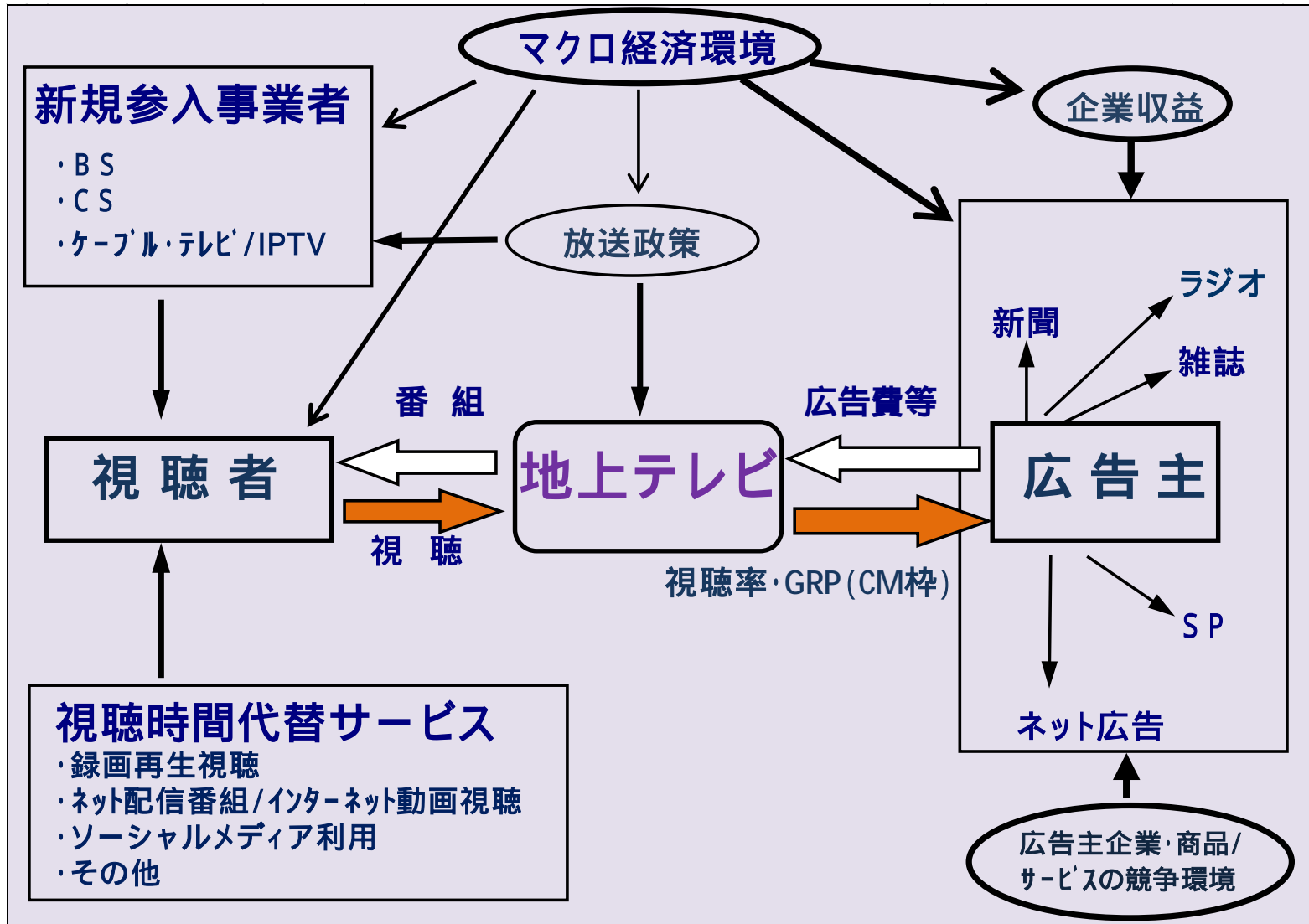
少子高齢化と視聴者構成の変化

中央と地方の格差

産業システムの硬直化

広告放送のビジネス構造

ファーストラン・モデルが基本



放送の現状と課題

2) ミクロ的視座から

テレビ離れ ...

テレビは「イケてる」のか

4K 8K

中央偏重のコンテンツ発信

コンテンツ内容の均質化批判

ローカル・メディア(特にラジオ)の疲弊

放送の現状と課題

3) 放送に何を求めてきたか

公共性 / 公益性

特に日本は、安定性、継続性を重視

安心 / 安全 災害に強い

多様性 多元性をもって多様性を担保

日本は言論の自由を標榜する民主主義の国

地域主義 県域免許

NationalとLocalの可視化、確認する装置

放送の現状と課題

4) 放送に何を求めるか

市場の拡大は可能か

国内市場の限界性 マクロ経済連動型

ネット伸長のなかで多様なメディア空間を生むには

リー・ボリンジャー「部分規制論」の示唆

地域創生に寄与できるか

国際協調に寄与できるか

将来の安心・安全に寄与できるか

地域にどう活力を生むか～北海道を事例に

アジア向け衛星放送
JET-TVプロジェクト



ミッション:「地域の未来に貢献する」

1997年～

「アジアに雪を降らせる」

延べ数千時間放送
観光・食・生活文化を発信

取り組みの背景

東アジアの変化

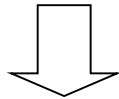
(90年代初頭～90年代後半)

アナログ衛星放送～デジタル衛星放送時代へ

インターネット、携帯電話の急成長

アジア経済急成長・・・日本バブル崩壊 拓銀破綻(97.11)

情報インフラと交通インフラ整備加速



アジアのコンパスが小さくなる

人・産業の交流が盛んになる

観光爆発の予兆

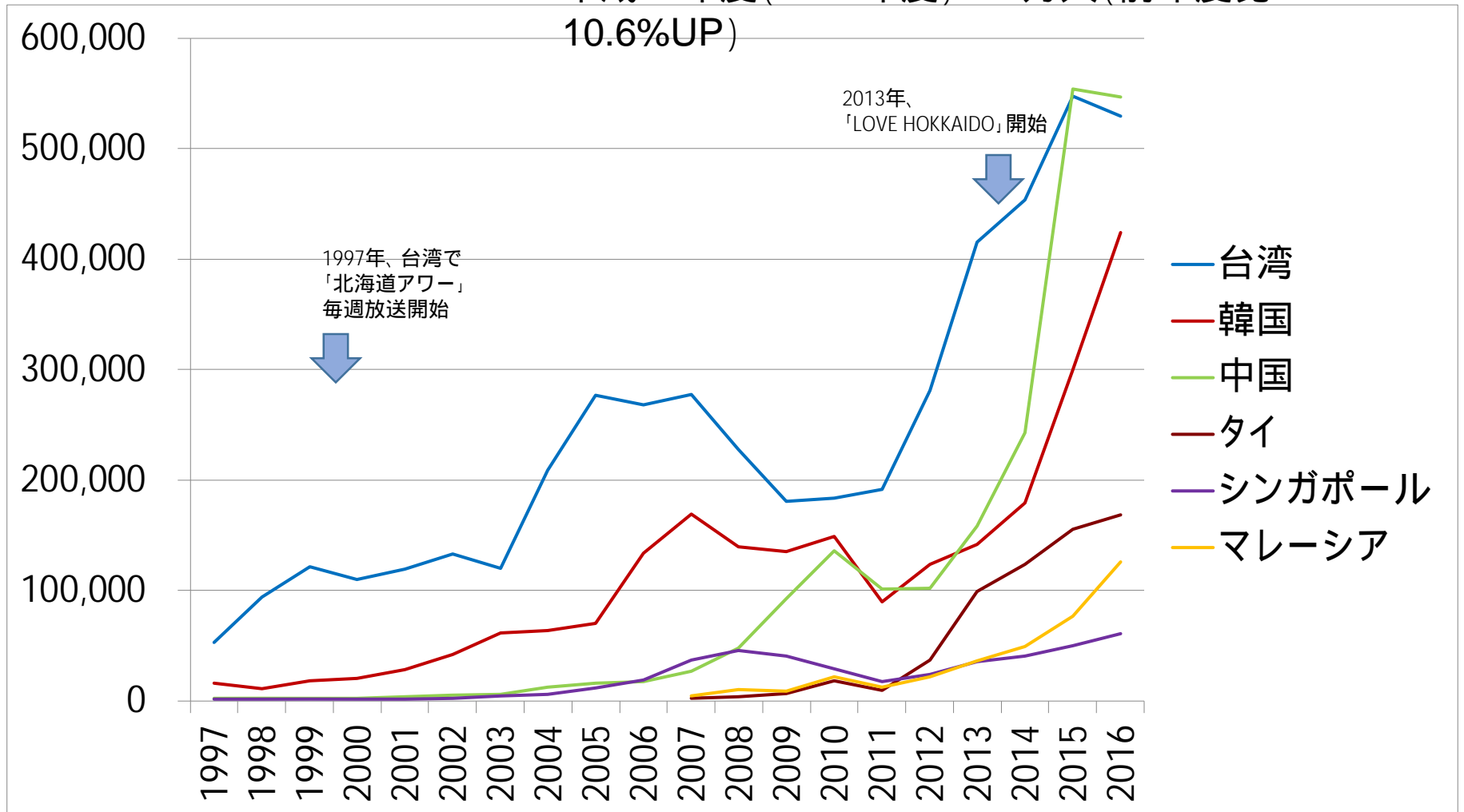
日本の中の北海道からアジアの中の北海道へ

J E T - T V 放送エリア (当時)

地域	PLATFORM	J E T 視聴世帯数
台湾	SEC (台湾ケーブル視聴510万世帯) (CABLE)	505万世帯(有料) (台湾総世帯数570万世帯)
シンガポール (2001年10月~)	STARHUB (計35.9万世帯) (CABLE)	2万6千世帯(有料)
オーストラリア (2001年10月~)	TVB1 (DTH)	1万8千世帯(有料)
北米 (2000年1月~)	ETTVAMERICA(DTH) EHOSTAR(DTH)	1万5千世帯(有料)
マレーシア (2002年6月~)	ASTRO (計104万世帯) (CABLE)	
香港 (2003年9月~)	iCABLE (CABLE)	2万2千世帯(有料)

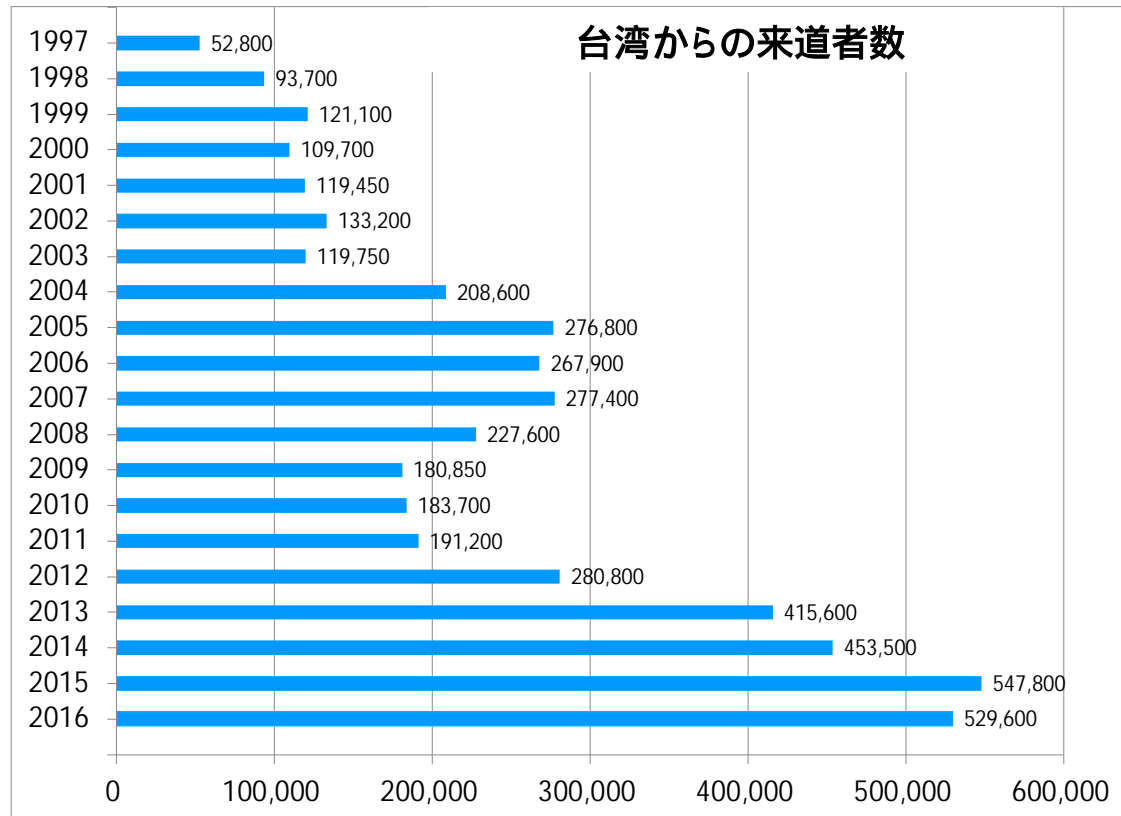
訪日外国人来道者数(実人数)の推移

平成28年度(2016年度)230万人(前年度比10.6%UP)



出典:北海道観光局・統計情報

台湾の観光客が急増



「日本のどこに行きたいですか？」

訪日意欲調査

	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール
1位	東京	富士山	北海道	北海道	東京	富士山	東京	東京	北海道
2位	北海道	東京	京都	大阪	大阪	東京	富士山	富士山	富士山
3位	富士山	北海道	東京	沖縄	北海道	北海道	大阪	北海道	東京
4位	大阪	京都	大阪	東京	京都	京都	京都	大阪	大阪
5位	京都	大阪	沖縄	富士山	札幌	大阪	北海道	京都	京都

日本政策投資銀行 2017年
「訪日外国人旅行者の意向調査」より

外国人観光客の増加による経済効果

前回調査(5年前)と比較して、
約1,300億円の伸び

● 総観光消費額 **1兆4,298億円** (推計)

区分	観光消費額単価 (円/人回) a	年間観光客 (万人回) b	総観光消費額 (億円) c=a×b	構成比	【参考】前回調査 (億円)
道民計	12,865	4,955	6,374	44.6%	7,240
日帰り旅行	8,434	3,687	3,110	21.7%	2,723
宿泊旅行	28,626	1,006	2,880	20.1%	3,895
その他旅行	14,699	262	385	2.7%	621
来道者	73,132	577	4,220	29.5%	4,898
訪日外国人来道者	178,102	208	3,705	25.9%	855
合計		5,740	14,298	100.0%	12,933

第6回北海道観光産業経済効果調査(H29.5)

～北海道観光振興機構資料～

北海道経済における観光産業の位置づけ

●経済波及効果

■生産波及効果(生産誘発額)

2兆0,897億円

■粗付加価値誘発額

1兆1,264億円

■雇用誘発者数

19万人

■税収効果

722億円

第6回北海道観光産業経済効果調査(H29.5)より

【参考】前回調査

1兆8,237億円

9,814億円

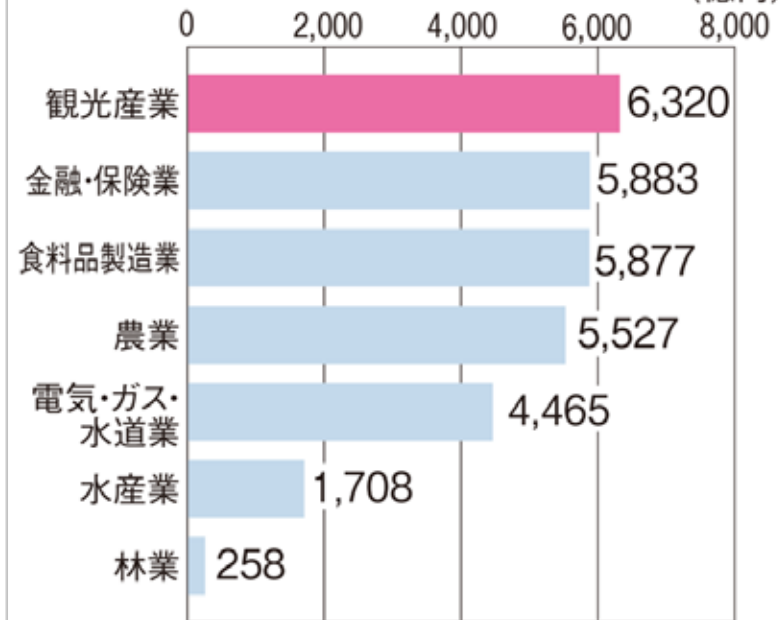
16万人

645億円

●観光GDPの道内産業間比較

※各産業は、道民経済計算の道内総生産の値

(億円)



～北海道観光振興機構資料～

コンテンツの海外展開を考える ～ TokyoDocsを事例に

国際共同制作とは

- 企画段階から複数の放送局・制作者が意見を出し合い、制作体制、予算、スケジュールなどで合意しながら、資金を出し合って番組を制作する。
- 世界中で見られる一つの作品を作る場合と、それぞれの国の視聴者のニーズにあうような表現方式、長さ、本数、司会者の有無などを考慮して番組を制作する場合がある。

→国際的な制作ルールに向きあうことに

国際共同制作の目的

高額な制作費を分担し合う

多角的な視点によるクリエイティブな創造

「Creative Input」

多様な才能の結集と得意分野での協力

新たな人材とテーマの発掘

参加国の視聴者のテイストに合う高品質の

ドキュメンタリー制作

国際共同制作の種類

●制作分担型

ある国のテレビ局が提案した企画に他の国のテレビ局が参加して、企画開発、撮影、編集などを共同で行う。

●制作予算分担型

制作会社のプロデューサー、ディレクターの企画に対して複数の国のテレビ局などが制作予算を提供する。
実際に制作するのは提案したプロデューサー・ディレクター。
様々な国のテレビ局が制作予算を共同で分担する。

Tokyo Docs の歴史

- 2011年 3月 Asian Side of the Doc ソウル開催
- 2011年12月 Tokyo TV Forum 2011開催
- 2012年12月 Tokyo TV Forum 2012開催
- 2013年 8月 NPO法人東京TVフォーラム設立
- 2013年11月 Tokyo Docs 2013 開催

- 2017年11月 Tokyo Docs 2017 開催(会場・上智大学 / JA共済ビル)

Tokyo Docs

国際共同制作公開企画提案会議

2011年創設

日本のドキュメンタリーを世界に広める

「ドキュメンタリーは国境を超える」

ピッチング・セッション

Pitching (企画を提案する) = プレゼン

ピッチング(トレラー映像含む) 7分 + 質疑 8分

国内外100本以上の応募企画から20本を選ぶ

ディビジョン・メーカー

番組と予算の決定権を持つプロデューサー

コミッショニング・エディター (CE)

ディストリビューター (配給業者)

製作会社のプロデューサー

世界から30人のディビジョンメーカーを招聘

One-on-One Meeting (個別ミーティング)

ピッチングの後の詳細面談

ワークショップ

専門家による国際共同製作のレクチャー

<http://tokyodocs.jp>

「波の向こう」

(2012年3月 NHK BS1放送)

- 福島県浪江町の被災者の胸の内を描く
- 原発に対して白黒つけがたい複雑な思い
- なぜ「東電さん」と呼ぶのか
- 視点が明快
- 英語タイトルは「My Atomic Aunt」
- BBC、NHKなど7カ国が参加して放送

レッドチルドレン～中国・革命の後継者たち～

(2016年 NHKBS1放送)

- 中国の建国には毛沢東の理想に共鳴した多くの欧米人が参加していた。彼らは中国で子供をもうけ“レッドチルドレン”が誕生する。
- 50年前、文化大革命が始まると、10代半ばの彼らは“紅衛兵”となり積極的に革命に参加した。
- 歴史の波に翻弄されたレッドチルドレンとその家族の知られざる物語。
- 日本の製作会社テムジンとドイツの製作会社の共同製作。

格闘ゲームに生きる

(2016年 WOWOW放送)

- 注目を集める e-Sports の世界を描く。
- 東京ビデオセンター、WOWOW、台湾の製作配給会社CNEXの共同製作。
- オーストリア人の編集マンが参加。
- カナダのHot Docs、台湾のCCDFなど映画祭でも上映。
- 「LIVING the Game」のタイトルで3月から劇場公開。

・衛星放送協会 オリジナル番組アワードで
審査員特別賞(2017)

- TokyoDocs2017イベントとして、上智大学で上映。

日本とアジアの制作者の共同製作

「Colors of Asia」

- 2013年からアジアとのネットワーク強化を目ざして開始
- アジアの制作者から企画を募集
- 30本の応募企画から4企画を採択(2017年放送)
 - 「Say Cheese! 勇気をくれたカメラ～インド～」
 - 「学校へ行きたい～ミャンマー・被災少年の未来～」
 - 「希望の種～ネパール・村を一つにした村」
 - 「鳥よ歌え～未来に向けて・インドネシア～」
- 日本の製作会社がパートナーとなる
- NHKのBS1で放送(2015年、2016年、2017年)
- 提案者の国でも放送、上映。

囲碁将棋チャンネル 特別番組

囲碁 日韓国国会議員 & AIペア碁マッチ

初回放送: 2017年11月3日

7月に日本と韓国の国会議員が友好を深める目的で開催された「第8回日韓国国会議員友好親善囲碁大会」。イベントの一つとして行われたのが、議員とAIがタッグを組むペア碁対局。日本議員 柳本卓治氏 & DeepZenGo 対 韓国議員 ウォン・ユチョル氏 & DolBaramの一戦を後日収録した解説とともに放送。



囲碁将棋チャンネル 今年の放送予定

囲碁 第1期 韓国竜星戦 / 第9期 中国竜星戦

放送時期: 2018年6月頃

韓国でも竜星戦を開催する。ベスト16より放送する予定。

また、中国竜星戦はこれまで字幕放送を行っていたが、音声吹き替え放送の希望が多かった為、第9期より吹き替えにて放送を行う。

今後は、日本・中国・韓国それぞれの竜星戦優勝者による、決勝戦も行う予定



放送システムの将来で気になること ～ 制度運用での対応は

音声メディアをどうするか

radiko、AIスピーカーへの注目

災害に強いラジオをどう生かすか

AMラジオは大丈夫か

送信アンテナの立て替え問題

ワイドFMをどう生かすか～サイマルだけか

AMとワイドFMとの柔軟な運用は